

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	平成26年度 第1回寒川町環境審議会		
日 時	平成26年7月24日（木）午後2時から4時15分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	【出席者】町環境審議会委員14名（片谷会長、杉山委員、中門委員、浜辺委員、松枝委員、清田委員、中川委員、鈴木委員、上田委員、大谷委員、平本委員、梅澤委員、坂本委員、若松委員） 事務局4名（木内環境経済部長、鈴木環境課長、門脇主査、芳賀主事） 【欠席者】小倉委員 【傍聴者】1名		
議 題	（1）平成25年度版寒川町環境報告書(案)について		
決定事項	・平成25年度版環境報告書(案)の内容の確認		
議 事	1. 開会（木内環境経済部長） ・新しく委嘱された委員の紹介（浜辺委員・大谷委員） 2. 会長あいさつ（片谷会長） ・議事録承認委員の選出 事務局一任の発声後、事務局より推薦し承諾を頂く。 議事録承認委員：浜辺委員、平本委員 3. 議題 （1）平成25年度版寒川町環境報告書(案)について （杉山委員）議事録を作成する際に「委員」ではなく、名前を明記して欲しい。 （会 長）町の規定はどうなっているのか。 （事 務 局）委員の皆様がよろしいと言うことであれば、そのようにしたいと思う。 （清田委員）他の会議でも議論になり、明記することになった。		

(会 長) 私が関わっている会議でもどちらもある。委員の皆さんの意見を聞き、問題ないようであれば、今回の会議から名前を記載する。

(委 員) 賛成の声多数

(会 長) 今回の会議から委員の発言に名前を記載して下さい。もしその発言が個人情報に関わる場合は、都度確認し削除もあり得るということでご了承下さい。それでは事務局から報告書の説明をお願いします。

(事 務 局) 新たに委員になった方もいるので、報告書の見方を説明し、その後報告書の内容を基本目標の順に説明。

(中門委員) 駅前広場にある看板にスローガンが書いてあるが、環境基本計画のスローガンと統一性がない。

(清田委員) 環境基本計画のスローガンは、この審議会の中で決まったスローガンで、町はまた別に大きなスローガンがある（総合計画）。統一する必要は無いと思います。

(会 長) 環境基本計画のスローガンを決める際も、他と統一するという議論はなかった。必要性の有無を事務局で検討頂き、次回紹介して下さい。

(事 務 局) 清田委員からご説明頂いたとおり、町の総合計画では「優しさと輝きと うるおいのあるまち 湘南さむかわ」という大きな将来像があります。「みんなでつくる みどり豊かで 空気と水がきれいなまち」というのはあくまで、環境基本計画の中での環境像としており、環境サイドでおおいにPRしていきたいと考えます。

(杉山委員) P15の体系と評価で約200項目ありますが、うち約47%が環境課であり、会議に出席しているのは環境課だけ。その他の課のうち、特に全体の約13%を占める、産業振興課、都市計画課は審議会に出席してもよいのでは。少なくとも全体の項目の7～8割の課に出席して欲しい。

(会 長) 環境課以外のセクションについて質問された際に、どのような伝達手段で回答が出てくるのでしょうか。

(事 務 局) 頂いた意見については、関係各課と調整し、昨年度頂いた審議会からの意見に対する対応状況のところで回答しています。

(会 長) 参考までに申し上げますと、山梨県の審議会では、他のセクションからも出席していますが、その場で回答ということはほとんど無く、後日文章で回答が出てきます。町内の審議会の進め方のルールもあるかと思うので、事務局で確認頂いて、連絡会議等で各課に投げかけて下さい。

(事 務 局) こちらの報告書については、関係課とのヒアリング及び調整委員会等を踏まえて作成したものです。説明の中で不足するものがあれば、持ち帰らせて頂き、後日回答します。

(杉山委員) 全体の約13%を占める都市計画課の評価が下がってい

る。環境課と産業振興課は上がっている。審議会の意図したことが伝わっていないのではないかと。正しく伝えてPDCAを回して、どうやって進めていくかを図っていく必要があると考えます。

（会 長）多くの項目を抱えている担当課は出てきても良いのではないかという意見も出ているので、次回の調整委員会等で伝えて頂き、反応を見たいと思います。

評価が「1」になっている項目が結構ある。この項目に対してどのような対処をしているのか。評価「1」は目立つので、追加的な対応が必要かと思います。例えばP43の下から4つめの項目で、「今後はホームページで周知する」と記述してあります。こちらは既に動き始めているのでしょうか。評価が「1」のものは今年度に改善を図らなくてはいけないものなので、次回までに取組状況の報告をして下さい。

（中門委員）報告書の中で同じテーマについて取り組んでいるものはいくつかある。課を跨いで連携して取り組むともっと良くなると思う。寒川町は昔から地下水が豊富にある、もう少し地下水に目を向けてはどうか。環境課の湧水調査。P44産業振興課や都市計画課の地下水涵養機能のある農地・樹林地の保全。道路課の道路排水の地下浸透。P60下水道課の雨水貯留施設設置助成件数。等湧水のあるところは限られている。様々な課との連携がスムーズに行けば評価が「1」のところも良くなり、もっと早く進むのでは。

（会 長）質問のあった雨水浸透升については、金銭的な助成を行っているのか。事務局で把握していますか。

いずれにしても地下水の関係が、相互に絡み合っているが、十分に連携が取れていないのではというのが委員の意見です。事務局で現状がどうなっているのか、連動状況をご報告下さい。当然部課長会議の中でお話はされていると思いますが、実施レベルでどういう連動がされているのかというのが今の指摘の趣旨です。

（事務局）あくまでも施策の概要でまとめているものです。確かに一つにまとめるのも良いのかも知れませんが、取組方針を見て頂けると分かるとおり、課を跨いで行かなければならない事業ですので、これを束ねた総合評価をしております。

（会 長）このような表の形で項目ごとに評価するやり方をとっている以上、実はつながっている項目であっても、別々のように標記しなくてはいけないというのは分かります。この表はこの表として、関連する項目の連動状況等を文章の中で表現するなり、環境の概要の中に、連動する体制を作っているなり書くなり対応してもらえれば、町民に分かりやすくなります。

（浜辺委員）BODの達成率の推移の表がありますが、点線の前後で河川の類型が変わったため達成率が下がったと言いたいのだと思いますが、達成率ではなく、絶対値（PPM）で出してもらうと分かりやすい。また達成率はどのように解釈すれば良いのか。

（事 務 局）数値が基準を超過していない月が年間何回あるのかという数字です。

（浜辺委員）行政的には水質目標を達成しているから良いとなりますが、水質の変化を捉えるのは難しい。BODの場合はPPMの表があった方が分かりやすい。同じ水質のことで、ダイオキシンの表があるが、小出川のダイオキシン濃度が平成18年度以降上がっていることについて、過去に使用された農薬の影響と書かれているがどうなのか。ダイオキシンの数値に、野焼きというのはかなり影響があると思われる。その野焼きのグラフの色が同じで分かりづらい。グラフにある個人というのは焚き火か、事業所の野焼きに焼却炉は含まれるのかというところが分かりづらい。ダイオキシンの野焼き寄与率がかなりあると思われるし、野焼きは温室効果ガスにかなり影響があると思うので、もう少し行政指導があってもよいと思う。

（会 長）BODの達成状況については、県の環境白書でも、達成状況だけでは、真の変動が見えないということもあり、平均濃度と基準達成率の両方を出している。大気のことと言うと、光化学スモッグ注意報発令回数が年々大きく変動するが、光化学オキシダントの年平均濃度の変動はまるで違う。発令回数が大幅に増えても、濃度が高くなるわけではない。スペース的な問題もあるかと思いますが、両方（達成状況・平均濃度）載せる検討をして下さい。また屋外燃焼行為の発生源別の経年変化のグラフのタイトルがおかしい。屋外燃焼行為はもっと行われていて、苦情が発生したのがこのグラフなので、「屋外燃焼行為の苦情発生件数」に修正して下さい。屋外燃焼と入っても燃やす量によって影響の度合いは全く違いますが、燃やせば有害物質は出る可能性は高いので、それに対する行政の対応状況について触れて頂きたい。「事業所への指導により、事業所の発生件数は減ってきているが、個人ベースの数が増えているので、それに対する指導を強化する」というようなコメントがないと町民としては安心できませんので、文面の中に入れられるところは入れて下さい。

（坂本委員）環境科学センターで小出川のダイオキシンの発生源の調査をやっていた中で、CMB（ケミカルマスバランス法）で発生源を調べたところ、他は分からないが、小出川に関しては農薬由来の寄与率が高いという結果が出ている。

（浜辺委員）いつ頃の調査ですか。

（坂本委員）2年くらい前のことです。

（若松委員）町民に公表されるのはどこまでですか。

（事 務 局）概要版・冊子ともにホームページで公表します。概要版は町内の学校に配布します。

（会 長）町民の希望があれば冊子も渡しますか。全戸配布はしますか。

（事 務 局）希望があれば渡しますが、全戸配布はしません。

(会 長) 概要版について、送られてきた資料は文章を主体にしたもので、今日配布したのは、箇条書きでまとめたもの、どちらが良いか諮問されています。

(若松委員) 文章化していないとグラフの意味が分からないところがある。

(会 長) 簡略化されすぎている。箇条書きは悪くないが、ある程度知識を持っていないとデータの意味が分からなくなってしまう。審議会の意見としては、ある程度文章がないと町民は理解できないという意見が大半を占めていますので、そのように対応下さい。

(杉山委員) 生ごみのリサイクルについて、物理的な方法を示すだけで、有効的にまた成功に導く指導が欠けているように見える。町で堆肥化の実証実験をしていると思いますが、この状況がどうなっているのかが見えにくい。その中で新たにキエーロの販売を始めるなど、きわめて短絡的。一時期EM菌を使っていたが今はやめてしまいましたが、キエーロも同じ微生物を使っている。なぜEMはだめでキエーロは良いのか、一貫性がない。生ごみの減量化に向けて、町民側(利用者側)に立って指導したほうが良い。

(梅澤委員) ごみ減量化推進協議会としてキエーロを推奨しています。2年近くゴミの減量化を考えてきて、一番キエーロが良いだろうとなり、今月末から町民向けに売り出しする。私も使ったが、なんでこんなにゴミが消えるのかと思うくらい消えてしまう。薬を使うことなく、生ごみを土に入れるだけで3人家族の残飯が4～5日で消える。皆さんに使って頂いて、町の生ごみを少なくしたいと考えている。

(杉山委員) コンポスターは好気発酵、キエーロは嫌気発酵ですから土壌細菌で消えるということです。方法は良いと思うが、それを分かりやすく説明してあげないといけない。

(梅澤委員) コンポスターを使えない家庭に是非キエーロを使って頂きたい。

(杉山委員) スイカなどは水気を切るなど、使い方について指導をして欲しい。環境課の職員は購入して使ったことがありますか。

(平本委員) 婦人会でもごみ減量化のため、会員の方がキエーロを使って実験している。

(会 長) 環境課も先頭に立つつもりで、関連団体と連携して進めて下さい。技術的に注意する点もあるようですから、住民に上手くノウハウが伝わるように工夫して下さい。せっかく良い方法でもやり方を間違えると活用されなくなってしまう。その辺は環境課が中心となって進めて下さい。今回の報告書に載せるということではなく、審議会の意見として議事録に載せておいて下さい。

(杉山委員) 生ごみが減ったことにより、出費がこれだけ減ったというところまで出せば完結型になる。

(会 長) 今年度版の報告書には成果が書けるように進めて下さ

い。

（中門委員）遊休農地の面積が3.5haと大幅に減っている。減るのは良いが、どんな減り方をしたのか。農地が宅地化したのと、農地として使われて解消したのとは大きく違う。また、P35の動植物調査の記述があるが、もう少し詳しく記述してはどうか。どのような項目の調査をしたのか書いた方が親切。エコネットで実施しているサギの調査を載せてもいい。

（鈴木委員）1年でこれだけ解消された理由が分からない。新規就農者がいて農地が拡大されたという話も聞いていない。

（会 長）新規就農の方が最初から3ha耕せるとは思えない。遊休農地解消というからには農地全体の面積が増えていなければならない。実際遊休農地が減った分、農地が増えたかどうかは確認できますか。

（事 務 局）確認します。

（会 長）遊休農地が解消され、農地全体の面積が増えたということであれば良いのですね。動植物調査の箇所はもっと強調しても良いのではという意見ですが。

（中門委員）動植物が多いということはそれだけ自然環境が豊かだということにつながると思います。私も昆虫調査に参加したが、たくさん種類を発見した。

（会 長）有害鳥獣の欄はたくさん書いてあります。

（清田委員）町には、前々から審議会でも話題になっていた、有名なサギコロニーがあり、中門委員が参加しているエコネットでも調査をしていてデータを持っているので記述しても良いと思う。

（会 長）町が直接実施されたものでなくて、町民が実施されたものでも、了解が得られれば利用しても良いと思います。スペースに余裕もあるので、追記して下さい。

（中門委員）4年前くらいのサギの出入り調査では、800羽くらい出入りがあった。それが昨年は300羽くらいしか飛ばなくなって、今年の調査では580羽くらいまで増えた。ずっとサギの変動を見ていると、圏央道を建設しているときは少なくなり、工事が落ち着いたら若干戻って来ている。環境変化と鳥類の行き来が見えてくる。

（会 長）他の審議会で聞いた話ですが、鳥は工事騒音にとっても敏感のようで、騒音が出ているときにはいなくなると聞きます。

（若松委員）多くの町民の方が概要版を見るので、おかしいと思ったところを挙げていきます。P1の環境報告書を通じたpdcaサイクルは小文字になっているが、計画書では大文字になっている。P6の環境学習講座や自然観察会の参加人数のグラフとP30の基準年の数字が合っていない。

（会 長）基準年の平成22年のデータがあるのに、平成21年の数字が出ているのは変です。整合を取れるようにして下さい。

（事 務 局）PDCAの部分は修正し、環境学習参加人数については確

認し整合性をとります。

（若松委員）P11の都市計画区域面積に対する緑地の割合のグラフは変化がないのに載せている意味があるのか。P12は先ほどリサイクルボックスの数字修正があったが、電動生ごみ処理機も286で306にはならない。P13の1人1日あたりのゴミ排出量の推移グラフの平成22年度の数字（853）が、P12の表の数字（833）と合わない。

（会 長）P12の表では平成25年度が855になっているが、P13グラフでは24年度が855になっている。

（事務局）こちらはまだ25年度の数字が出ていないため、数字が出次第入れ替えて整合性を取れるように修正します。電動生ごみ処理機の数を確認いたします。

（若松委員）P13の寒川町の電力使用量のグラフがあるが、町全体の電気使用量は指標に載っていない。庁舎のLED化等を行っているので、役場庁舎の電力使用量にした方がPR出来るのでは。

（会 長）環境指標に入っている項目につながるグラフを優先的に載せて下さいという指摘です。今回指摘したところに限らず、数値の確認は2度3度行って下さい。最後にP71, 72の要点だけご説明下さい。

（事務局）昨年度の審議会意見に対する対応状況について説明。

（清田委員）前々から小出川の水質改善というのは、課題になっていますが、原因ははっきりしたのでしょうか。

（坂本委員）先ほど小出川の関係でお話ししたのはダイオキシンの調査です。県で水質汚染の調査は行っていません。

（会 長）これは藤沢市から発生源が特定できたという情報があったということですか。それともこれから改善を図りますというレベルなのでしょうか。

（中門委員）私はCODで調査していてデータをお渡しすることも出来ます。小出川の調査は7～8年やっている。調査地点のうち慶応大学の近くの小出橋で水質調査をやると、CODで3～4くらい。その下流の追出橋の豚舎があるところの数値を見ると8くらいに跳ね上がっている。さらに下ると4.5～6位になる。その間が高いと言うことは豚舎の影響があるのでは思っている。

（会 長）2市1町で、データに基づいた議論をして頂けると、具体的な対策につながると思います。改善依頼をしたから「◎」というのは若干希望的な部分がある。

（清田委員）前々から豚舎が原因という話はしていて、藤沢地区に有名で手広くやっている方がいる。

（会 長）所管の自治体が指導するのが本来の姿なので、中門委員が計測したデータも、町が図ったものではないので、非公式なものではありますが、参考データとして使われたら良いと思います。もちろん町が測られても良いと思います。出来るだけ具体的な対策に結びついているということを明記して、「◎」を消せということ

ではないですが、本当の意味での「◎」になるには、具体的な対策が動き始めましたという報告が望ましいということだと思います。

（杉山委員）他の課に伝えて頂きたい。駅前北口広場に樹木が5本ある。タクシー乗り場の真ん中にヒメシャラの木が植えてありますが、半分枯れています。つい最近、私が手術を行いまして、順調にいくと見ていますが、とにかく水が必要。みどり豊かと言っているのですから、玄関口が枯れていたら意味がない。渇水時期には40ℓの水を毎日根鉢に入れない限り枯れてしまう。続けていけば3年後にはすごい木になる。

（会 長）駅前公園は町有地で、環境課の所管ですか。

（事 務 局）町有地ですが、都市計画課の所管です。

（会 長）関係課に緑を保つための提言があったと強く要請して下さい。

（清田委員）以前指摘のあった、一之宮遊歩道の桂の木はどういう対応をしたのですか。

（杉山委員）あれはもう直りません。根株心材腐朽菌は接触感染します。その状態でサルノコシカケ(キノコ)が出てくるとおしまいです。南口のケヤキの木も同じ状態だったので切ってもらいました。

（会 長）公共交通機関の利便性向上や輸送力強化については、昨年度何らかの具体的な動きはあったのでしょうか。

（事 務 局）毎年要望は行っています。

（会 長）JRは新幹線の駅が出来れば考えるという具合でしょうか。言い続けることは重要ですので、結果が出なくても意味があることです。要望を言わなくなると無視されます。所定の時間になりましたので、今後のスケジュールをご説明下さい。

（事務局）次回の環境審議会は8月26日（火）です。それまでに本日頂いた意見を反映し修正して、1週間前までには資料をお送りします。再度審議会で頂いた意見を踏まえて、調整委員会及び同専門部会に確認し、庁議を経てホームページで公表します。

（会 長）追加で意見がある場合は、いつまでに報告すればよろしいですか。

（事 務 局）今月末までをお願いします。

（会 長）審議会で言い忘れたことや、後で気づいた意見があれば、今月末までに事務局までご連絡下さい。

（松枝委員）取組状況について、担当課ごとに色々な方が書かれているので、書きぶりがずいぶん違う。例えば、P50の調査検討を行っています。P44引き続き保全に努めます。など。

（会 長）担当課が書いたことを勝手に直せないと思いますので、環境課で修正案を提案頂き、書きぶりについては出来るだけ統一して下さい。

	4. 閉会	以 上
資料	・平成26度 第1回 寒川町環境審議会次第 ・平成25年度版寒川町環境報告書（案）	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	浜辺 謙吉 平本 正子 平成26年8月11日（月）確定	